

令和4年 11月

メンタルヘルス推進室

令和4年度

ストレスチェック実施結果報告書

## 令和4年度ストレスチェック結果報告

平成28年度よりストレスチェックが開始され、本年で7年目となる。  
令和4年度のストレスチェック結果の報告と経年比較を表し報告する。

### 1. ストレスチェック実施期間、提出人数及び高ストレス者数について

今年度、社会福祉法人天竜厚生会職員、福祉工場従業員を対象に実施した。

対象者：令和4年5月1日在籍している全職員、福祉工場従業員

記入期間：令和4年7月25日～7月29日

回収日：令和4年8月4日

集団分析：今年度は34グループ（福祉工場従業員を含める）に分類

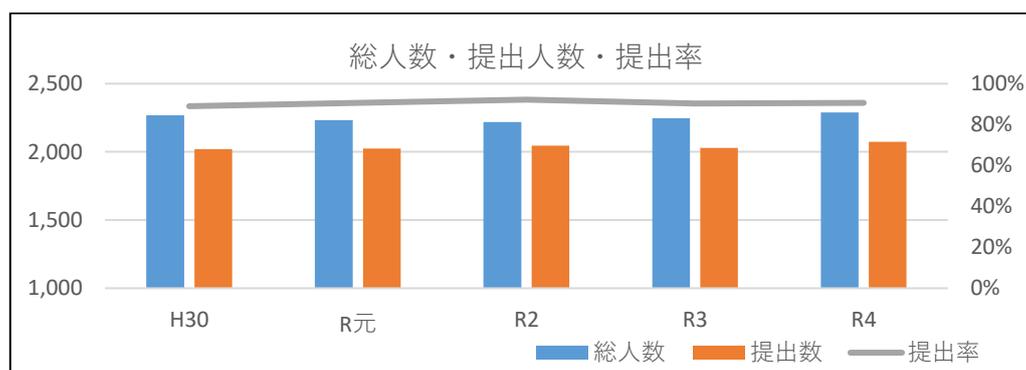
- ・入所施設においては、施設ごとに集団分析を行っている。  
種別集計の分類にあたっては、グループホームは障害者入所施設に含んでいる。  
翠松苑、まどかについては、2ヶ所合わせて集団分析を行っている。
- ・在宅支援関係・子育て支援関係は、地域ごとに集計し集団分析を行っている。
- ・本部事務所グループ、研修センターグループ、給食事業課、診療所はそれぞれに分析を行っている。種別集計の分類にあたっては、本部・研修センターをまとめて表している。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により、しらいと、富士在宅関係は回収時期を変更したため、今年度は集団分析未実施となった。

本年度総数、厚生会職員2,289人のうち、提出者は、2,074人であった。

厚生会職員の高ストレス者数は246人、福祉工場従業員の高ストレス者数9人であり、合わせて255人であった。提出率は、昨年度とほぼ同じで、今年度は90.6%であった。

総人数、提出数、提出率について5ヶ年の比較（福祉工場従業員除く）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総人数	2,268	2,233	2,220	2,247	2,289
提出数	2,019	2,024	2,046	2,030	2,074
提出率	89.0%	90.6%	92.2%	90.3%	90.6%



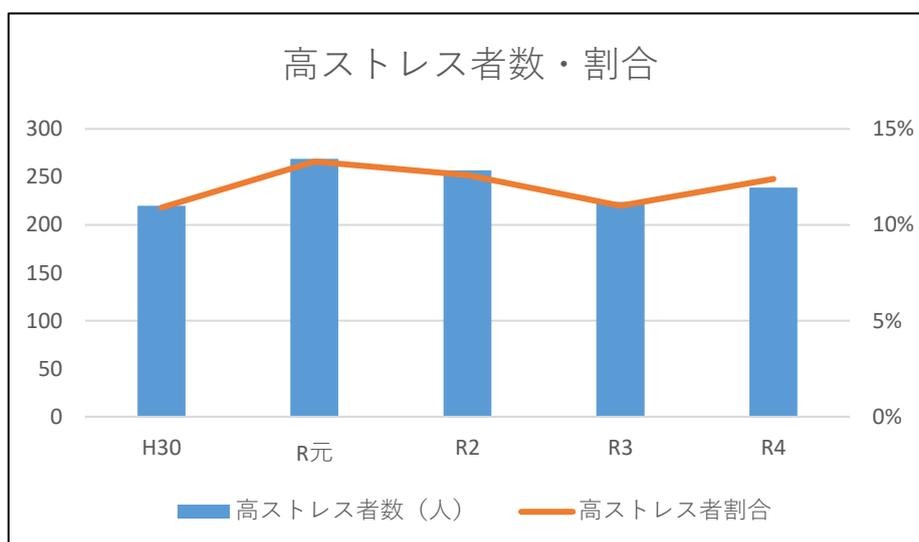
### 高ストレス者について5年間の比較と全国平均5年間の比較

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
職員高ストレス者数(人)	220	269	257	224	246
職員高ストレス者割合	10.9%	13.3%	12.6%	11.0%	11.9%
全国平均 割合	14.7%	14.8%	13.7%	14.2%	
全国平均(医療福祉)割合	13.5%	13.9%	13.0%	13.4%	

割合からみると今年度11.9%で昨年度よりわずかに増加している。

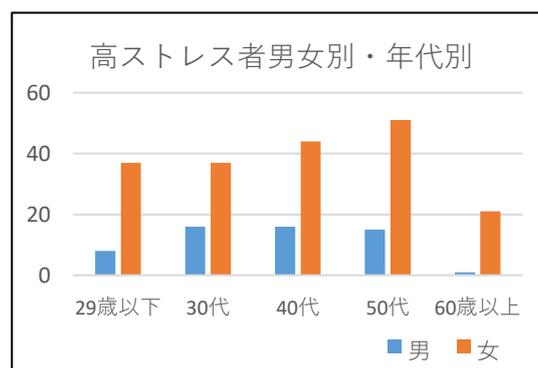
ストレスチェックの委託先である静岡県予防医学協会が加盟している「全国労働衛生団体連合会」の令和3年度実施報告書から高ストレス者の割合は全体で、14.2%であり、そのなかで同業種である医療福祉と分類された高ストレス者の割合は13.4%であった。

### 高ストレス者数・割合の経年比較



### 今年度の高ストレス者数を男女別、年齢別に表す

年代	男	女	合計
29歳以下	8	37	45
30代	16	37	53
40代	16	44	60
50代	15	51	66
60歳以上	1	21	22
合計	56	190	246



男女別では、男性56人、女性190人であった。50歳代が66人と最も多く、続いて40歳代であった。男性は、30歳代と40歳代が多く、続いて50歳代が多かった。女性は、50歳代が最も多く、続いて40歳代と多かった。

男性と女性の高ストレス者の割合は、ほぼ同じ割合であった。

(男性高ストレス者数÷男性提出者数) ≒ (女性高ストレス者数÷女性提出者数)

福祉工場従業員について

福祉工場従業員の高ストレス者の推移を経年比較でみる。

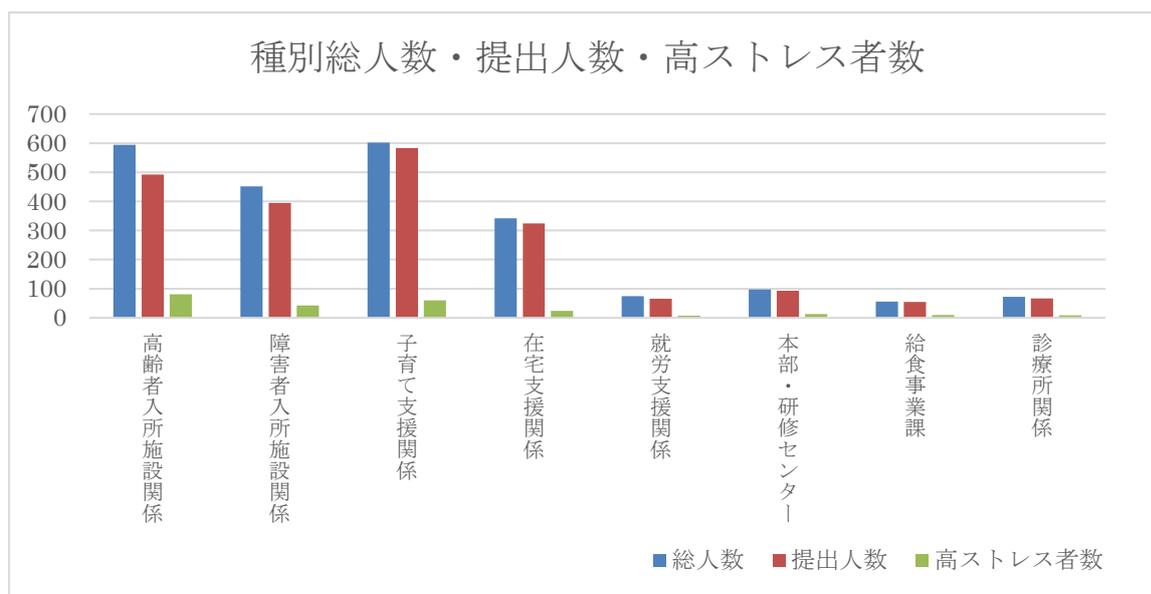
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
高ストレス者数	9	13	5	6	9
高ストレス者割合	12.5%	19.7%	8.3%	12.2%	15.0%

福祉工場従業員については、今年度の高ストレス者数・割合ともにやや増加した。

## 2. 種別比較について

各種別に集計し、総人数、提出人数、高ストレス者について下記に表す。

	総人数	提出人数	提出率	高ストレス者数	高ストレス者率
高齢者入所施設関係	594	492	82.8%	81	16.5%
障害者入所施設関係	452	395	87.4%	43	15.1%
子育て支援関係	602	583	96.8%	60	10.3%
在宅支援関係	342	324	94.7%	24	7.4%
就労支援関係	74	65	87.8%	7	10.8%
本部・研修センター	97	93	94.8%	13	14.0%
給食事業課	56	55	98.2%	10	18.2%
診療所関係	72	67	93.1%	8	11.9%
<b>職員総合計</b>	<b>2,289</b>	<b>2,074</b>	<b>90.6%</b>	<b>246</b>	<b>11.9%</b>
福祉工場従業員	77	60	77.9%	9	15.0%

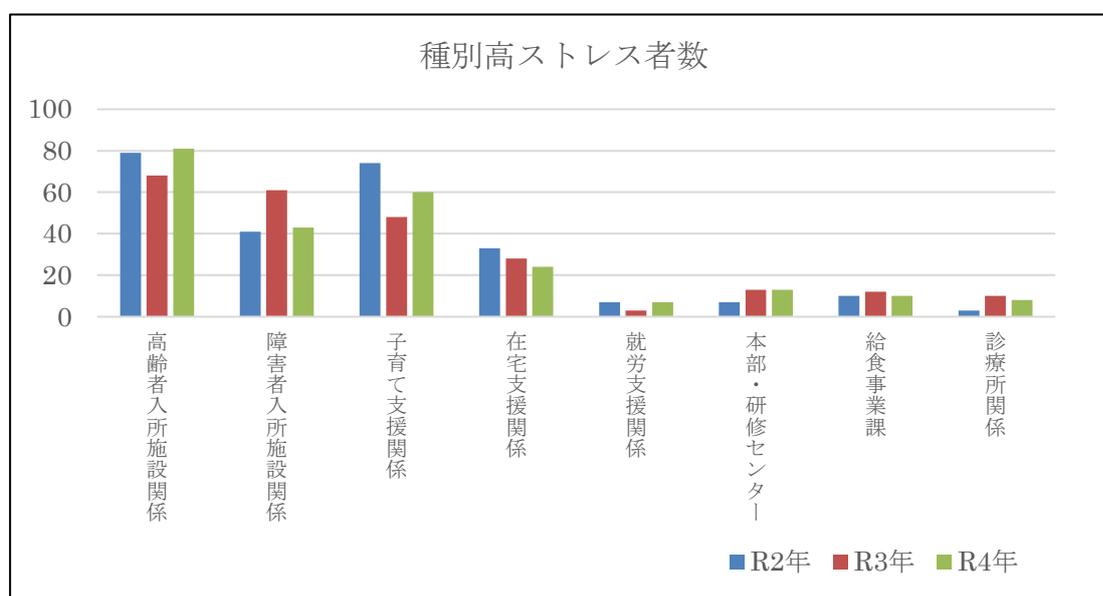


高ストレス者の割合が高いのは、給食事業課 18.2%であり、続いて高齢者入所施設関係 16.5%であった。低いのは在宅支援関係 7.4%であり、続いて子育て支援関係 10.3%であった。

種別高ストレス者・割合経年比較

※前年より割合が上昇したところを赤字とする

	令和2年	令和3年	令和4年
高齢者入所施設関係	79 (15.4%)	68 (13.6%)	81 (16.5%)
障害者入所施設関係	41 (10.1%)	61 (15.1%)	43 (15.1%)
子育て支援関係	74 (14.2%)	48 (9.1%)	60 (10.3%)
在宅支援関係	33 (9.5%)	28 (8.1%)	24 (7.4%)
就労支援関係	7 (11.5%)	3 (5.6%)	7 (10.8%)
本部・研修センター	7 (8.5%)	13 (14.9%)	13 (14.0%)
給食事業課	10 (19.6%)	12 (20.7%)	10 (18.2%)
診療所関係	3 (4.5%)	10 (17.2%)	8 (11.9%)



経年比較でみると、在宅支援関係は年々減少している。また、本部・研修センター、給食事業課、診療所関係は昨年度と比較して減少している。

高齢者入所施設関係、子育て支援関係、就労支援関係は、昨年度と比べ増加している。

### 3. 総合健康リスクについて

#### 総合健康リスクとは

仕事の負担が高くなるほど、仕事の裁量性が低いほど、上司・同僚の支援が少ないほど職場ストレスは高くなり、心身の健康問題が生じるリスクが高くなる。

総合健康リスクは、100を基準として評価する。例えば健康リスク120は、基準値より20%リスクが大きいことを意味する。

全国平均、業種平均と天竜厚生会平均を比較して表した。

#### 健康リスク評価結果

職場名	人数	仕事の負担		職場のサポート		健康リスク		
		量的負担	コントロール度	上司のサポート	同僚のサポート	仕事の負担	職場のサポート	総合
全国平均	540,081	8.0	7.4	7.2	8.1	98	95	93
業種平均	119,148	8.4	7.3	7.4	8.1	102	93	94
法人全体（今回）	1,960	8.4	7.4	7.5	8.4	101	89	89
法人全体（前回）	2,035	8.3	7.4	7.5	8.4	100	89	89
（前々回）	2,046	8.3	7.4	7.5	8.3	100	90	90

表は、「総合健康リスク」の算出根拠となった「仕事の負担による健康リスク」及び「職場のサポートによる健康リスク」を示している。

法人全体として、「総合健康リスク」は89であった。

#### <総合健康リスクの算出>

(仕事の負担による健康リスク×職場のサポートによる健康リスク÷100)

数字の見方として

#### 仕事の負担

仕事のコントロール度 数字が高いほど負担が小さい

仕事の量的負担 数字が高いほど負担が大きい

#### 職場のサポート

同僚のサポート 数字が高いほどサポートが多い

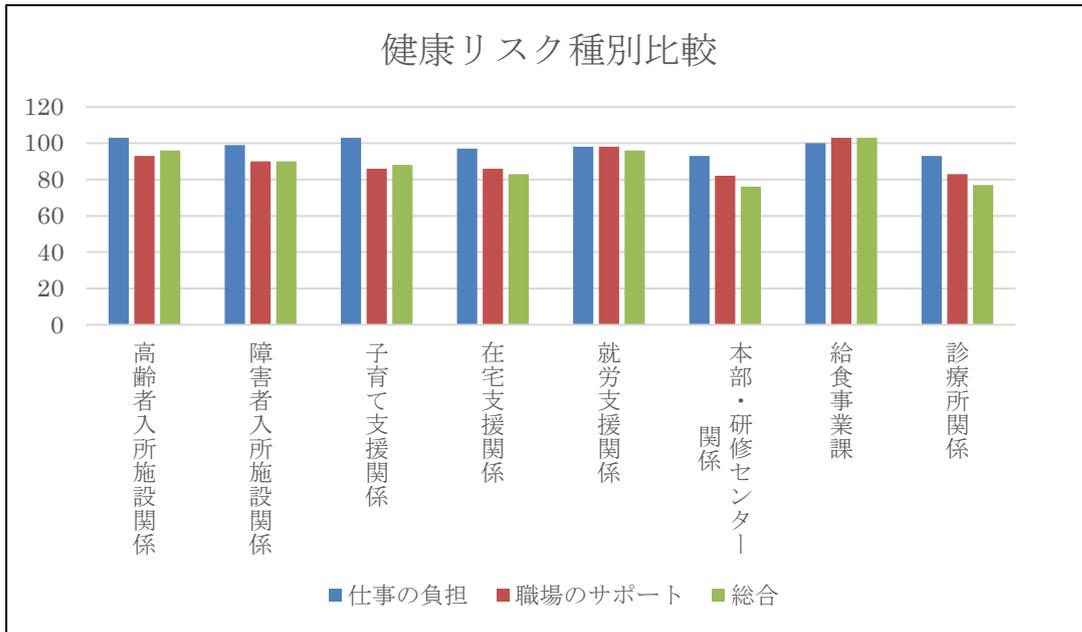
上司のサポート 数字が高いほどサポートが多い

#### 健康リスクについての見方

仕事の負担 数字が高いほどリスクが高い

職場のサポート 数字が高いほどリスクが高い

集団分析の「仕事の負担」「職場のサポート」「総合健康リスク」の各々の結果を種別に集計し表した。数字が高いほどリスクが高いことを示している。



健康リスクの仕事の負担は、高齢者入所施設関係（103）子育て支援関係（103）が高い。

健康リスク職場のサポートは、100を超えたのは給食事業課（103）のみであった。

総合健康リスクについて、種別でみていくと100を超えたところは給食事業課（103）のみであった。法人全体の89より高いのは、高齢者入所施設関係（96）、障害者入所施設関係（90）、就労支援関係（96）であった。

#### 総合健康リスクについて

下記に分析グループ別の総合健康リスクについて5ヶ年の比較を表す。

#### 事業所別の総合健康リスク

※100を超えた数値を赤字で表す

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
法人全体	90	89	90	89	89
しらいと	94	105	109	111	—
さやの家	105	96	99	95	92
しんぱらの家	85	91	86	82	91
城北の家	109	109	105	98	91
登呂の家	100	98	99	96	92
百々山	93	101	99	92	103
さいわい	90	90	89	95	104
翠松苑・まどか	97	99	105	92	101

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
アクシア藤枝	90	91	99	96	—
赤石寮	89	91	91	91	100
美浜	103	94	100	86	94
赤松寮	103	107	99	101	87
厚生寮	90	85	89	91	93
浜名	85	88	88	87	90
あかいし学園	120	107	88	96	86
浜北学苑	96	82	90	93	99
グループホーム	64	61	56	68	73
清風寮	83	83	90	83	91
就労支援関係	95	94	96	91	96
富士宮在宅関係	91	90	79	73	—
静岡・藤枝方面在宅関係	85	89	88	82	95
掛川方面在宅関係	81	79	79	78	70
浜松方面在宅関係	79	85	86	88	86
天竜方面在宅関係	92	88	94	90	85
浜北方面在宅関係	86	89	84	83	86
龍山方面在宅関係	81	83	83	73	79
掛川・磐田・豊田方面子育て支援関係	86	92	86	86	92
天竜方面子育て支援関係	84	84	90	90	86
浜松・浜北・湖西方面子育て支援関係	95	91	88	91	88
診療所関係	79	79	83	90	77
給食事業課	104	90	113	100	103
研修センターグループ	75	81	83	69	67
本部事務所グループ	78	78	82	89	84
天竜福祉工場従業員	105	94	94	97	87

総合健康リスクについて法人全体では 89 であった。100 を超えた事業所は、百々山 103、さいわい 104、翠松園・まどか 101、給食事業課 103 の 4 事業所であった。

#### 静岡県予防医学協会の分析結果のコメント

「法人全体としては総合健康リスクが全国平均より低く職場ストレス環境は比較的良好といえます。この状態を維持しましょう。なお、個別職場（部署）ごとにみると改善を要する場合もあります。「組織別集団分析結果集計」を参考に、有効な対策を講じることをお勧めします。」